

黄城



CONTENTS

特集ようこそ先輩!!	1
会長あいさつ	5
校長あいさつ	5
各支部活動報告	6
卒業50周年を迎えて	8
黄城会総会を終えて	9
黄城会総会に向けて	9
後輩からの一言	10
合格だ！優勝だ！	11
会員寄付金の寄付者一覧	12
役員一覧、物故者、一般寄付金	13
会計報告	14
事務局通信	16

発行 ▶ 令和6年7月1日

発行所 ▶ 黄城会

発行人 ▶ 古賀 正人

印刷 ▶ 株式会社印刷

Ojyo News Letter Vol.54

特集
ようこそ先輩!!

「これからの時代を担う皆さまにお伝えしたいこと」



坂井 秀明 氏

株式会社佐賀銀行 取締役頭取

【講師紹介】

坂井頭取は1958年9月にお生まれで、芦刈町のご出身でいらっしゃいます。1977年3月に小城高校を、1981年3月に青山学院大学法学部をご卒業になりました。

大学を卒業された年の4月に佐賀銀行へと入行。そして2009年6月には総合企画部長に就任され、2011年6月には取締役総合企画部長になられました。2018年4月からは、取締役頭取としてご活躍中です。

皆さんおはようございます。ご紹介いただきました、坂井秀明と申します。今日はそう長い時間ではありませんが、どうぞよろしくお願い致します。

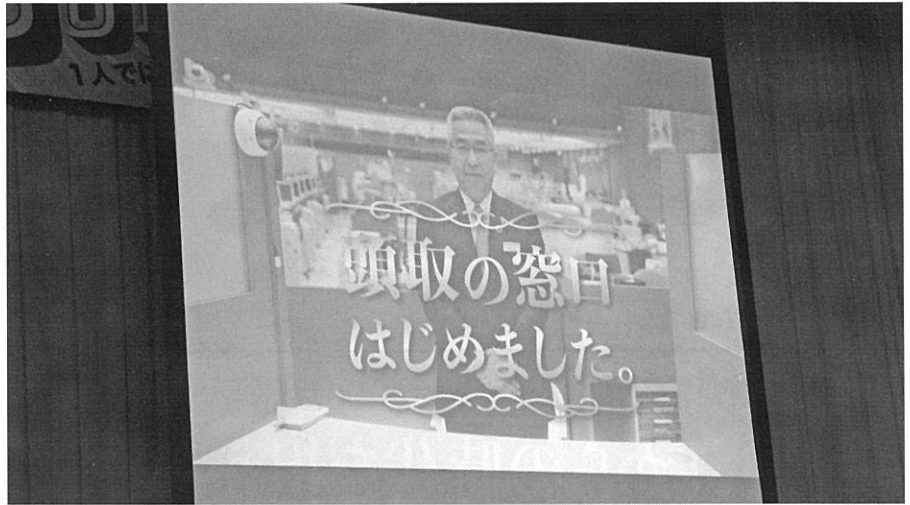
まずは生徒の皆さん、先生方、そして同窓会の方々、特に29回の同期の方々にはこのような場を与您にいただき感謝しています。コロナで2年延びましたが、こうしたことができる時代に戻って良かったなと思っています。

今日は私だけで50分のお時間をいただくのではなく、ビデオ上映や私よりも相当若い小城高校出身の行員とのパネルディスカッションなど、趣向を凝らして進めていきたいと思ひます。

始めたてに失敗は付き物

大学では親に負担をかけすぎないように、4年間寮で暮らしました。今とは全然違ってプライバシーもほとんどなく、1部屋に2人。2段ベッドでした。その寮生活でものすごい失敗をしまして、退寮しないといけなかつたことがありました。

あれは1年生の時。当時はみんなで大入る大きな風呂がありました。掃除当番は掃除をし、水を入れて



20分経った頃に止めないといけなかつたのですが、その時は眠たくて、水を止める前に寝てしまひました。学校に行って帰ってきたら大変なことになっていました。寮監先生が止めてくれたのですが、1日中水を流しっぱなしにしたらほぼ1か月分の水を使うんですよ。それでも、みんなの前で大目玉でした。いたたまれなくともうダメかなと思つたものです。しかしなんとか許してもらひまして、3年生の時に副寮監をし、4年の時は「大学の職員として来ないか」というお言葉までいただきました。

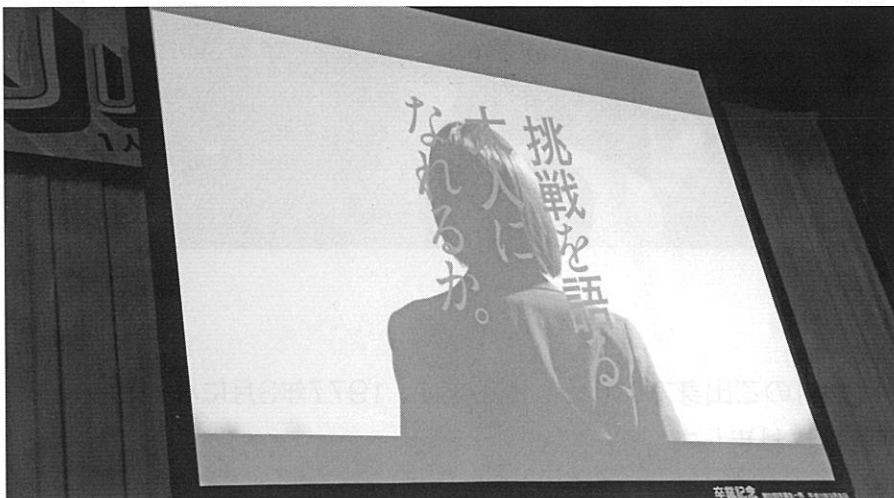
大学時代にとどまらず、銀行に入つてすぐにも失敗をしました。入行式の翌日から研修が始まる

のですが、その第1日目に30分ちょっとの遅刻をしています。何を申し上げたいかという、若い時はいろいろ失敗するものです。特に1年生とか、入つたばかりとか。だからこそ、入行式の時に新入社員の方へ必ず「いろいろ失敗していいからね。周りの人がしっかりフォローしてくれるから」と伝えます。

心のモヤは学びで晴れる

私が佐賀銀行に入行した時、入つたからには一所懸命に頑張ろうと思ひました。届け出た瞬間から寝ても覚めても「佐賀銀行」になつたものです。しかし入つたばかりの頃は、あまり営業成績も上がらず悶々としていました。その状況を変えるためにはまず力をつけようと、2年目くらいから資格や検定試験に挑戦し始めたんです。例えば宅地建物取引主任者の資格を取つたり、中小企業大学校で経営コンサルタントの試験を受けたり。1年間ビジネススクールにも行きました。

当時は30代までは勉強し、40代になったら学んだことを生かして仕事を頑張ろうと思ひていました。でも、そうじゃないんですよ



ね。どんな立場になっても勉強しないといけないと今では思っています。

人間はずっと成長し、変わっていくものです。頭取になってからもずっと勉強し続けています。資格も取りましたし、海外にも行きます。去年はニューヨークとシアトルに行きました。今度の9月にはスウェーデンに行く予定です。

いくつになっても知見、経験を積んで、進歩しましょう。机上の勉強だけではありません。ちょっと話すこと、どこかへ行ってみる、きれいだなと思うことや感動することも含めて、一つ一つが勉強だと思っています。

お金を安全に運用する

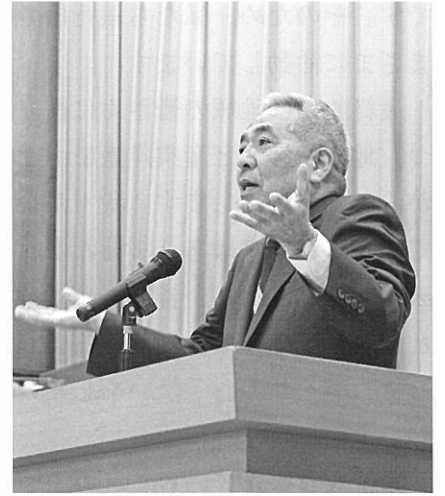
これから皆さんに3つの話をさせていただきます。最初は金融リテラシーについてです。銀行では皆さんが持っているお金を預けていただきます。我々はお預かりしたお金を活用したい方にご融資という形で運用し、利息とともに返していただきます。

一方、3分の1くらいは有価証券で運用します。そこで得た利益をまず皆さんに預金の利息として

お返しします。ただ、銀行は役割上、安心安全が一番重要なので、あまりたくさんの金利はお返しいたしません。冒険はせず、なるべく安くお貸しして金利をお支払いするというのが基本的な形です。

ここ20年ほどは、預金を一部でも投資信託や保険の商品などに運用する、いわゆるアセットビジネスのお手伝いが大きなウエイトを占めるようになりました。その中でも大事なことは、プロの運用者にお任せするという事です。当然お客様の考えに基づいて運用することがプロにとっては大切です。皆さんがこれから社会人になると、当然そういった話が出ます。その中で一つ、忘れないでほしいのは「うまい話にはトゲがある」ということです。「自分は金融リテラシーが高い」「自分は十分な知識を持っている」という方ほど、うまい話に引っかかってしまうもの。皆さんが働いて得た、もしくは親御さんからいただいた大切なお金だからこそ、安心安全なところから始めた方が当然良いわけですから。

短期間で儲けられるものは絶対



にないのです。我々プロも運用しています。ものすごく難しいんです。簡単にはいきません。ですから、ある程度信頼のおける銀行や証券会社を通じて運用するのも良いと思います。安心できる、信頼できるプロに任せることが大切です。もしくは、皆さん自身がプロになっていただいても良いと思います。

今の話はお金を働かせるという考えです。ファイナンシャルアドバイザーも「銀行に預けて利息をいただいても良いし、その一部を働かせて資産を増やすのも良い」とお客様に言います。これは今後どんどんやっていくべきですが、あまりに短期の話には絶対に乗らないようにお願いします。

預かるだけではない銀行の役割

その他にも、我々銀行はいろいろなことをしています。10年ほど前、Microsoftの創業者であるビル・ゲイツ氏が「銀行の機能は必要だが、従来のような銀行は不要になる時代が来る」と言われていました。私としても言わずもがなのことだと思っています。要は、預かって待っているだけで役立つような時代ではなくなるということ



です。そのため、私たち銀行はさまざまな活動しています。

最終的には地域の皆さんに役立つ、地域活性化と産業隆盛につながることを目指します。我々が全てできるわけではありませんが、その一部でも担い、皆さんがずっとこの地域で暮らしたくなるようなまちづくりのお手伝いをしたいのです。

まず取り組んでいることのひとつが、キャッシュレス化。昔はみんな現金を持っていて、銀行の窓口に行かないとお金を下ろせませんでした。今はもうATMコーナーもあり、アプリもあるので、銀行に行かなくても大丈夫ですよ。

それから、我々自身も含めたデジタル化のお手伝いや、カーボンニュートラルに向けても取り組んでいます。お客様同士をマッチングしたり、コーディネートしたりするのも仕事の一つです。なかなか皆さんの目には付かない部分かと思いますが、いろいろなことを分担しながらやっていくのが今の銀行です。

ここに集まった“ご縁”

次に、ご縁についてお話しします。世界の人口は70億にも80億にもものぼりますよね。その中で、ほぼ同じ年に、同じ地域に生まれて、同じ高校を選んで一緒にいるということは、すごい奇跡とは言いませんが、すごいご縁だと思います。だからぜひ、このご縁を大切にしてください。

好き嫌いや告白して振られたなど、いろいろあるでしょう。でも、歳をとっていくと、高校の同級生や同じ部活の仲間、先輩後輩って、やっぱりものすごくいいと思うんです。なんにせよご縁ですし、仲良くするに越したことはありませんね。

誠実さを大切に

最後に、少し人生訓的なことをお話しします。私は心構えとして、3年ほど前から「インテグリティ」という言葉を社内で使っています。その前は「コンプライアンス（法令遵守）」だったんです。もしくは「レギュレーション（決まりを守る）」でした。余計なこ

とをしないようにという方針でしたが、これからのデジタル社会、それでは通用しません。だからこそ「インテグリティ」なのです。

インテグリティは日本語にすると「誠実さ」です。どこかで聞いたなと思って小城高校のホームページを見ました。そしたら皆さん、校訓に書いてあるじゃないですか。今日はいくつかのお話をしましたが、全てにおいて大切なのは、誠実に物事を考えて、人と接すること。どういう人生を送っていくにしても大切なことです。この素晴らしい校訓を持つ学校で学ぶ皆さんが、一つ一つの学びを大事にされて、残りの学校生活も過ごしていただければと思います。ご清聴ありがとうございました。

Profile

坂井 秀明 (65歳)

小城高等学校 昭和51年度卒業
(高校29回卒)

昭和56年 青山学院大学を卒業
平成21年 株式会社佐賀銀行 総合企画部長に就任

平成30年～ 現職

パネルディスカッション

小城高校を卒業し、銀行員として日々活躍する若手の5人が登壇。なぜ佐賀銀行を選んだのか、どんなところに仕事の魅力を感じるかなどを語り合いました。

それぞれの経験を振り返りながら話した当日。1年目から経営者とお話をする貴重な機会を得られる環境、学び続ける大切さ、地元・佐賀へ貢献したいという思いなどを真摯に話され、中には高校時代の恩師から「どの会社かより、その会社でどう頑張るかが重要だ」と助言いただいたという素敵なエピソードもありました。





ごあいさつ

黄城会会長
古賀 正人

全国の小城高等学校黄城会会員の皆様には平素より会の運営に対しご理解、ご協力をいただき誠にありがとうございます。心よりお礼申し上げます。佐賀県立小城高等学校創立125周年の黄城会総会も例年通り、母校体育館において5月3日新緑も映える中、高校51回生を中心とした実行委員のもと開催されました。1部総会に続き2部黄城の集いでは25年前高校創立100周年の黄城会総会を担当されました高校26回の皆さんの卒業50周年をお祝いしまして無事

に終わることができました。木下実行委員長をはじめ実行委員の皆さんご苦労さまでした。昨年の総会において会長に就任いたしました。全支部総会への出席を目標としておりましたが県庁支部がSAGA2024国スポ全障スポ対応の為、支部総会が中止され、関門北九州支部の会員の減少高齢化等を理由に福岡支部への合流があり又、個人的には義兄が1月に亡くなり以後の長崎、多久、唐津の3支部には訪問がかなわず大変残念でした。

来年黄城会は創立120周年を迎えます。

会員の減少、高齢化は大きな問題

です。

会員の増加は現在の小城高校定員1学年200名からして望めません。

会員の皆様が黄城会に対して関心を持っていただき協力していただく事が大事となっていくと思います。これからも黄城会の設立の目的である、会員相互の親睦をはかり、同時に佐賀県立小城高校の発展に寄与するという目的を守り伝統を永く継承していきたいと思っています。

結びになりますが黄城会の益々の発展と母校小城高等学校のさらなる飛躍、会員の皆様のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、私の会報発刊の挨拶といたします。



母校だより

校長
高尾 和範

令和6年4月1日付けの人事異動により本校に着任しました校長の高尾和範（たかおかずのり）と申します。どうぞよろしく申し上げます。

私は、国語教諭として、平成14年度から8年間、その後令和3年度に教頭として再び戻り、1年間ここ小城高校に勤務させていただきました。通算9年間お世話になった学校に、また再び戻ってくることに、心から嬉しく感じています。

さて、本校では平成8年度より「オンリーワン活動」を行っています。これは、一人一人の生徒が、「これについては自信がある」「この点は自分を誇りに思う」など、かけがえのない自分を発見し、社会に貢献できる人材を育成することを目指したプログラムです。

また、九州大学と連携協定を結んで、共生社会を担う人材の育成に取

り組んでいます。この取り組みに限らず、生徒たちは高校生活で多くのことを学び、他の人を大切に思いやり、心をつとめ、立場の弱い人に対しても優しい社会づくりに貢献できる人材として成長しています。

令和5年度の学業報告（令和6年度入試結果）及び、部活動の成績についての詳細については、後の「合格だ！優勝だ！」をご覧ください。今年度も九州大学、佐賀大学をはじめとして多くの生徒が合格の栄冠を勝ち取ってくれました。また、部活動についても、令和5年度佐賀県高等学校総合体育大会女子個人での優勝をはじめとして多くの部活動で素晴らしい成績を残してくれました。先輩方が残していただいた「文武一途」の精神は、今もなお受け継がれていますし、今後も引き継がれていくものと感じています。

ところで、現在の小城高校は、校舎改築により、教室棟も新しく生まれ変わり、正門付近も美しく整備されています。残念ながら、樹齢300

余年のムクノキは朽ちてしまい、安全の確保のために令和4年度に伐採されてしまいましたが、郷土と本校の歴史の生き証人である樹齢600余年のクスノキは今もなお威風堂々とそびえ立っています。

武道場の東側の空き地には芝桜を植えています。これは、黄城会会員様のご寄付による浄財を使わせていただき、整備させていただきました。通りに面していますので、登校する生徒や小城公園の桜を観に来られた人々の目を和ませています。ありがとうございました。

最後になりますが、同窓会の皆様方には物心両面にわたりいつもご支援いただき、この場をおかりして御礼申し上げます。今後とも温かいご支援とご協力を賜りますよう、よろしく申し上げます。

関東支部

「愉しくなければ黄城会ではない…」を合言葉に開催しました。黄城会本部から古賀新会長・牛島校長と9名のご来賓の参加有難うございました。一昨年の支部総会はコロナ禍で、関東支部だけ開催。昨年は138名がKKRホテル東京に集いました。6回卒三水会の皆さんが半世紀にわたり、毎月第3水曜日に開催、米寿を機に6月で最後となり、8月27日総会でも元気に参加された6名に乾杯の音頭とテノール歌手、下野昇先輩に校歌を先導して貰いました。高校野球優勝の慶応と作曲者が同じと教えて貰いました。しかし今年1月に下野先輩が急逝されて、自分でのピアノ演奏の校歌が残念ながら遺作になってしまい、心からご冥福をお祈り申し上げます。先輩の急逝は佐賀新聞でも掲載されました。

夏の総会を軸に春・秋の散歩の会で自然鑑賞と親睦。先輩の生き様を学び、後進の皆様の参考になる経験を語る場にしたいと思います。散歩会も昨年秋で創立12年、第22回散歩会を17回生の企画で井の頭公園で迎えました。今春は3月31日九段下日本武道館に10時に集い千鳥ヶ淵から日比谷公園のコースを19回で過去最多の参加を目指して下見と企画を練り過去最多最高の81名の黄城人が千代田城の春を独占する大行列になりました。

(関東支部長 高校19回 村上 徹)



中京支部

黄城会中京支部活動に日頃より多大なご協力を賜り誠にありがとうございます。

令和5年の中京支部総会は数年ぶりに支部会員全員の皆様に総会通常開催のご案内ができました。ご返信頂いた案内状には久しぶりに参加する事を楽しみにしているお声もあれば、中にはご病気による体力低下による残念ながらの不参加の

お知らせ、またはご逝去された方もいらっしゃる、数年間の時間の隔てを感じ入るところです。

さて令和5年の支部総会は黄城会本部・小城校長・関東支部・実行委員会の皆様、わが中京支部会員様に加えて中京佐賀県人会の皆様の多大なご協力を得まして20名での開催となりました。少々寂しい参加人数でしたが内容は爆笑の嵐で、過去最高の盛り上がりとなり大変充実した総会となりました。

今年令和6年4月には名古屋城公園において花見会を行い、こちらも多数のご参加を賜りました。

新規の支部会員獲得が困難な今、現在中京支部は様々な施策を行っています。

大きな柱として中京佐賀県人会荒木会長のご支援を得て、中京佐賀県人会を中心とした繋がりや愛知県内にある佐賀県内の各コミュニティグループ会合やゴルフコンペなどに積極的に参加するなどして横の連携を強めていくことです。これにより小城高校卒の私たちがまだ知らない方へのアプローチと、小城高校卒の枠を超えて佐賀県という幅広い繋がりで少しでも支部活動と関わって頂く方の広がりがあればと思っています。

試行錯誤を繰り返しながらではありますが様々なことに今後も挑戦し、黄城会中京支部活動を広げていければと思います。支部会員様と役員一同が一丸となって頑張っています。

私ども中京支部は皆様の多大なるご協力・ご支援なくては存続出来ません。今後も宜しくお願ひ申し上げます。

(中京支部事務局長

高校40回 堤 淳)



関西支部

令和5年度はコロナ禍も落ち着き4年ぶりでちょうど関西支部創立70周年という節目の総会を9月17日、大阪道頓堀ホテルで開催することが出来ました。

当日は牛島校長、古賀会長を始め5名

の来賓と支部会員は37名の参加となりました。残暑厳しい中ではありましたが、会場は久しぶりの再会に話は盛り上がり2時間の懇親会はあっという間に過ぎてしまいました。

関西支部も他の支部同様に高齢化の波が押し寄せ、如何に若い世代の会員の取込や支部活動への参加者を増やしていくかという課題があります。

最近支部活動支援を頂いた方へのお礼として総会の写真や関西の四季の動画をBRディスクにまとめ配布させて頂いています。田中支部長からは先日の役員幹事会でLINEやSNSを積極的に使ってより多くの会員の方に支部活動を知ってもらえるようにしたいと提案がありました。

今年度は支部総会への参加の可否をはがきだけではなくQRコードで簡単にメール返信が出来るようにしたいと考えています。総会出席が出来なくても近況報告だけは送って頂ける方が増えるのではないかと期待しています。更にはYouTubeで関西支部チャンネルを開設し支部活動を映像で記録・公開してPRするようなくみ作りを進めていきます。

(関西支部事務局長

高校27回 岡本 正史)



福岡支部

日頃より黄城会福岡支部の活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

福岡支部は新型コロナ禍で3年間『総会・同窓会』の実施を断念せざるを得ない状況でしたが、令和5年度は4年ぶりに実施することができました。

本来であれば当番回期である高校50回で結成されるはずの実行委員会ですが、3年間の空白で連絡網が途絶え人が集まらず、辻支部長のリーダーシップのもと役員含む有志で年齢・回期を超えた実行委員会を結成し活動を進めました。

最大の懸念事項である資金不足を『総会・同窓会』会場の変更、プログラム冊

子の廃止、優待の廃止など様々な改変により乗り越えることができました。

おかげさまでもちまして総数71名の出席者による大盛会で終えることができました。

また嬉しいことに、令和6年度当番回期の高校51回の有志の参加もあり、次期実行委員長も快諾してくれました。

まだ従来の運営に戻るまでしばらくかかると思います。我々役員含むシニア世代も後進に繋ぐべく最大限のフォローをし、未来永劫黄城の火を灯し続けて行くよう努力をする所存です。

末筆ながら、黄城会の益々の繁栄と会員皆様のご健勝を祈念しつつ、以上ご報告と致します。

(福岡支部常任幹事

高校38回 陣内 晋作)



長崎支部

令和4年度の報告にコロナ禍により支部総会開催が不透明であるため、その代わりとして支部会員の文集作成を考えると書きましたが、諸般の事情で実現できませんでした。

7月に支部役員を中心とした8名の集まりを行い、親睦を深めながら、年明けの1月に4年ぶりの支部総会開催を確認しました。

その総会に向けて長崎県在住の黄城会々員の半数以上の102名に案内状を出し、返信数60、総会出席予定20名(うち県内は初出席2名を含む15名)で、無事開催となりました。

卒寿で出席の江頭駿治、小川潔のお二人に記念品を贈呈。恒例の多久市郷土資料館々長の藤井伸幸さんの講演は「紫式部、和泉式部、小式部」の話で大変興味深いものでした。

余興は楽器演奏、ハワイや韓国の踊り、頭の体操、連想式福引きなどで賑わいました。

役員改選では8回生の古川正人さんが、9年間の職責を全うされ、10才若い中村嘉孝さんにバトンタッチをしました。

(長崎支部事務局長

高校10回 大石 太)

佐賀支部

コロナ禍で3年間支部総会が開催出来ず、さらには会員の高齢化、若い層の同窓会離れ等も進み中で、果たして何人集まっていたか、役員会の最大のテーマでした。平成最後の開催時、172名の出席から比較すると124名にとどまりました。江里口佐賀市部長、本部の古賀会長の挨拶ではじまり、決算、監査報告があり、最後は、令和6年度の総会案内で総会は終了し、懇親会では黄城会誕生秘話からはじまり、フラダンス、ジャンケンゲーム、お楽しみ抽選会で盛り上がり、51回生の皆さんには、総会、懇親会の進行役をうまくこなしていただき本当に感謝いたします。事務長の交代もあり、総会開催が支障なく出来るかどうか不安の中、支部総会を楽しみにしているとの参加者の声が多く寄せられ、しばみかけた意欲が湧き上がるのを覚えました。支部役員、会員、関係者の皆さんの温かい支えがあり、何とか盛会のうちに終えることができましたことに対し御礼を申し上げます。

(佐賀支部事務局長

高校22回 徳久 英二)

唐津支部

昨年の流行語「4年ぶり」同様、唐津支部においても、令和5年度黄城会唐津支部総会を4年ぶりに開催することができました。

支部総会では、本部・学校・他支部・総会実行委員会からの挨拶や本校生徒の近況、支部活動の報告、懇親会では、参加者全員の自己紹介、じゃんけん大会、終わりには恒例の校歌斉唱を行ないました。

20名程度の小さな支部総会ですが、高校6期の先輩から40年を経過した高校46期の会員まで、過ごした時期は40年の違いはあるものの小城高校、小城公園、名物先生など楽しい話で懇親会は終了しました。

支部長をはじめ役員で支部総会参加者を増やす努力を行っていますが「継続は力なり」を信じて、案内はがきの発送、会員同士の声かけを行っています。

今年度も令和7年2月に、支部総会を開催し、会員相互の交流を行いますので、多くの会員皆様のご参加をお待ちしています。

(唐津支部事務局長

高校43回 濱村 宜弘)

多久支部

令和6年2月11日(日)に第36回黄城会多久支部総会を開催しました。支部総会に先立ち、このたびの能登半島地震により尊い命をなくされた方々のご冥福をお祈りし、哀悼の意を表するとともに、また、昨年、お亡くなりになられました、梅崎茂弘前黄城会多久支部長を偲んで、黙祷を捧げました。コロナの影響で数年ぶりの開催となりました総会は41名の会員の皆様の参加があり、総会では新しく新高16回藤田和彦氏を新支部長に選任し、多久支部相談役の多久市長横尾俊彦様、黄城会本部より井手副会長、小城高等学校より江里口事務長にご来賓の挨拶をいただきました。総会では事業報告及び2024年黄城会総会の案内がされ、総会後の懇親会及びアトラクションでは、岸川節伝承芸能保存会の皆様にご出演頂き、地区の風俗・習慣と結び付きながら伝承されており、郷土色の豊かさがとても伝わってくる芸能でした。最後に来年の支部総会での再会を約束し閉会となりました。

(多久支部

高校50回 尾鷲 直紀)

県庁支部

県庁では、令和5年度は7月の豪雨災害からの復旧・復興に注力するとともに、8月に九州で初めて発生した豚熱や11月に発生した高病原性鳥インフルエンザの防疫措置に全庁を挙げて取り組みました。また、元日に発生した能登半島地震の被災地支援のために多数の職員を派遣しました。様々な危機事象への対応に追われる年となり、残念ながら支部総会を開催することはできませんでした。

さて、いよいよ今年10月には、「体育」から「スポーツ」に変わる初めての大会「SAGA2024(国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会)」を佐賀県で開催します。SAGA2024は、「する」「観る」「支える」、スポーツに関わるすべての人が主役です。スポーツの楽しさ、素晴らしさを実感できるように、前例のない「新しい大会」に向けて、全力で取り組んでいます。

黄城会の皆様には、色々な場面でお世話になると思います。よろしくお願いたします。

(県庁支部前支部長

高校35回 伊東 厚)

26回生 卒業50周年を迎えて



高校26回
川副 春海

黄城会26期生は、昭和49年(1974)に小城高校を卒業した。25年前、黄城会百周年の記念総会を担当した。ことし黄城会総会で卒業50周年を祝福していただいた。総会には、約60人が全国から集合した。懐かしい顔ばかりであった。(総会案内の作業で気付いたことだが、同期で他界された方が分かっているだけで30人いた。ややショックではあった)

昭和30～31年(1955～1956)生まれ。戦後のベビーブーマーである団塊の世代から5～10年後の生まれだ。この国の主流を占め、何かと目立つ団塊の世代と何かにつけ比較されてきた。高度成長に乗って育ち、また70年安保では学生運動に明け暮れた団塊(今や彼らは高齢社会の申し子だ)と比べ、私たちの世代は「内向の世代」とも呼ばれた。学生時代、大学は沈静化したものの、波乱の時

代の余波が残っていた。個人的なことだが、私の通った大学では、前後期の試験シーズンとなると、新左翼系の自治会が大学をバリケード封鎖して、4年8回の試験のうち7回は試験中止、レポート提出となった(今そんな事態となると、授業料返還訴訟となるかも知れない)。高度成長で、就職も楽々出来た団塊とは違い、卒業時はオイルショック、ドルショックの影響で、就職難だった。就職で苦労された同級生も多かったと聞く。30代なかばで、バブル崩壊に遭遇した。以降、失われた30年・デフレの時代を、社会の軸として生きた。結婚するのが当たり前の世代とは違い、シングル生き方を貫く同級生も増えた。自分の子どもがなかなか結婚しないと嘆く話も同期ではよく聞く。団塊と「新人類」の間に挟まれた私たちは、ポスト高度成長のある種、静かな変革期、時代の端境期を生きてきたのではと思う。

佐賀県の教育政策が変わり、小城高校は小城多久地区の生徒が行く普通高校ではなくなった。佐賀市や唐津市南部からの生徒も増えていると

聞く。ただ、小城高校の教育環境は抜群だ。複数のグラウンドがある敷地の広さ、隣接する小城公園も運動部のランニングコースでもあり、デートスポットでもある。隣の旧小城町中央公民館が、地元の私立大学の看護学部となり、文教地区としての条件も向上した。他の県立高校にはないとびきり上等な環境だ。そんな小城高校は、私にとって今でも大きな誇りである。

現在68～69歳となった。総会の挨拶でも申したことだが、実は私たちにはあまり時間が残されていない。日本人の健康寿命は男性で72歳、女性75歳、元気で過ごせるのはあと6～7年だ。同期生は、リタイアした方々が多いが、まだまだ様々な団体の代表など社会の一線で活躍されている方もいる。地域のボランティアとして活躍されている方も多いと聞く。十分に健康だし、社会貢献できる世代だ。社会に参加し発言していく世代だ。健康を維持し、アグレッシブに日々を過ごしたいと考えている。



黄城会総会を終えて

2024年度黄城会総会実行委員会

実行委員長 木下 直登 (高校51回)



2024年度の黄城会総会を無事に終え、我々51期の実行委員及び開催にあたり協力してくれた高校51期一同安堵しております。

学校関係者の先生方や在校生の皆さんにも多く手伝って頂き有り難うございました。

開催当日は多くの先輩方や恩師の先生方にも多くご参加いただき大変活気のある賑やかな雰囲気の中、久々の再会を皆さん楽しませていました。

今回の実行委員会のメンバーと一緒に一年間やってこれた事を、私自身本当に良かったと思っています。

最初は何かも手探り状態で、みんな『これどうする？』と言う事が沢山ありましたが、それぞれで分担した役割に対して責任を持って、本当に良く行動し進めてくれました。

実行委員のメンバーには感謝しかありません。24年ぶりに再会した仲間と毎月集まり、少しずつ準備を進めていった事も良い思い出になり、気づけば学生の頃に戻ったような気分で話し合ったりしている事に気づき大切な経験となりました。もう集まれないのが今では寂しくもあります。

私自身、総会の前と後では大袈裟に言いますと少し人生の見方が変わったような気がしています。黄城会に関わっていく中で、沢山の先輩方にお会いしたり、また母校に通うことで、在校生の元気な姿を見て、自分のかつての青春時代を思い出したりと色々感じる事がありました。卒業して25年と言う節目で、また改めてこういう機会があることには何か少し大げさですが、意味があるような気がしています。

ある程度人生が見え、出来る事も増えた今、自分の中の新たな価値観、それをしっかり持って周りを大事にし、何か自分が役に立てることを探し貢献していく。それが自分の人生をより充実したものにさせてくれるのではないかと思うことができました。

これからは卒業50周年を目標に、自分自身もより一層人生に磨きをかけ、社会貢献していけるような人間になりたいと思います。

52期の皆様にもきっと良い経験になると思いますので是非積極的にご参加してみてください。

思わぬ気づきを得ることが出来ると思います。

今回は貴重な機会を与えていただきました。本当にありがとうございました。

2025年度の黄城会総会に向けて

2025年度黄城会総会実行委員会

実行委員長 音成 信介 (高校52回)



「来年黄城会総会の当番会期だからよろしくね！」

と51期の先輩たちから声をかけてもらって、ふと自分たちが卒業から24年も経っていたことに気づかされました。周りからもそろそろ総会の当番のことを聞いてはいたものの、日々の仕事や家庭に忙殺されていたので全然認識がありませんでした。声をかけられてからというもの、先輩たちからの引継ぎや至る所で総会運営の苦労話を伺いながら、同時に仲間集めもしなければと、少しずつ52期の同窓生たちに声をかけていく中で、私自身黄城会総会の当番会期の仕事は近づくにつれ、いよいよ大変なことだなと感じていました。それと同時にこの黄城会の熱量はなんだろうなとも思っていました。

そんな中で、先日の黄城会総会に見習いとして参加して改めて、痛感したのは「黄城会総会は、自分の原

点に戻れる場」だということでした。

5月3日の総会では、集まったそれぞれ会期の先輩たちが同窓の仲間と会うことで、外聞や社会的役職関係なく、あだ名で呼びあったり、笑顔で話す様子がいたるところで行われていました。それを見て、ああ、この日はこの場にいる誰もが、自分たちの青春時代に還れる場なのだと感じました。

私にとって黄城会は誰もが皆16歳から18歳までの多感な時期を小城の地で学んだという共通経験を持っていて、小城で学んだこと、その青春時代を本当に大切にされていてそれを誇りに思っている同窓会だということに当たり前のことなのですが、気づくことができました。

年に一度、自分の原点に戻れる場所があるということは大人になって特に貴重なことだと思いますし、黄城会総会はそれができる大切な場所

だと思っています。

来年の黄城会総会は、私たち52期生が当番会期として企画、運営を務めます。私たち実行委員会も不慣れで行き届かないことも多くありますが、来年総会運営を通じて多くの先輩方、後輩たち、また佐賀、小城の地域と繋がるご縁を楽しみにしています。

最後に、これまでの先輩たちが連続と続いた総会を次の世代にも繋いでいくために、仲間たちと共に当番会期という機会を楽しみながら協力して、黄城会総会を皆様にとって「青春に還れる場」として準備して参りますので、皆様からのご支援、ご協力を切にお願いいたします。

2025年5月3日に「黄城」の地で皆様とお会いできることを楽しみにしております。

支えてくださった皆さんへ

古賀 淳斗 (九州工業大学 工学部 I 類)

私の高校生生活の三年間は本当に一瞬でした。まず、私が小城高校に来ようと思ったのは、進学校で自分の学力に合っていたというのが正直なところで、これといった明確な理由は実はありませんでした。しかし、入学してみると自分と話をしてくれる友達が多く、不安だった気持ちもいつの間にか忘れて、部活動と勉強に没頭することができました。

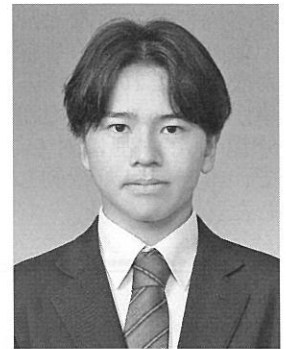
私はこの三年間で得られることが本当に多く、それを教えてくれた先生方、家族、友達、自分に関わるすべての人に大変感謝をしています。私は入学してからルールを守れないような子供みたいな過ちを繰り返しては怒られていました。しかし、そこで反省をし、人として良い方に成長していくことができました。みんな、本当にいろいろとごめんなさい。

そしてありがとうございました。私はずっとみんなに支えられてきて、一人になった時の無力さを知ることができました。

まず、誰よりも早く起きて家族のみんなを起し、朝ご飯と弁当を平行して作ってくれた母。他にも送り迎えや様々な手続きもやってくれました。私はこれから、必ず親孝行をすることを約束します。また、受験シーズンには祖父母の家に住むようになり、勉強の支えとして十分すぎるほどの支えをしてもらい、合格できた要因はここにあると言っても過言ではありません。ありがとうございました。

また、担任であった織田先生。勉強面でのアドバイスを必死でしてくれ、推薦の書類は先生の助けがなければ完成も合格もできませんでし

た。メンタル面、仲間と一つのことを協力してやり遂げることの楽しさを教えてくださった、サッカー部顧問の田中先生をはじめとする先生方。サッカー部のみんなが私にかけてくれた言葉は今でも思い浮かべられます。どれか一つでも欠けていたら、今の自分はいませんでした。今の自分が本当に大好きです。すべてに感謝しています。本当にありがとうございました。



「感謝を胸に前へ」

弓削 拓哉 (熊本大学文学部コミュニケーション情報学科)

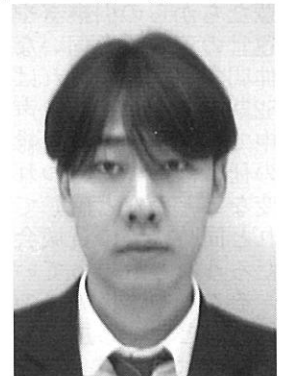
小城高校で過ごした3年間は多くの学びがあり、楽しい思い出に限らず、つらい思いをしたこともたくさんありましたが、私を精神的に大きく成長させてくれました。

3年間で振り返って感じたことは、周囲の人たちの存在があってこそ私は大きく成長することができたということです。私は高校生活でつらいことや諦めてしまいそうなことをたくさん経験しましたが、周囲の友人が一生懸命頑張っている姿を見て、自分も頑張ろうという気持ちになることができました。この経験から、努力することは周囲の人たちに良い影響を与えると気づき、私は生活の中で自分のために頑張ると言うより、誰かのために頑張ると言う考

え方ができるようになりました。そして、不安な気持ちでいっぱいだった推薦入試の際は、昼休みや放課後の時間を割いて指導してくださった先生方や同じ大学を目指して支え合った友人を思い出し、この方々のために絶対に合格するという気持ちをもって臨むことができました。

3年間毎日朝はやく起きて弁当を作ってくれたり、送り迎えをしてくれたりしたお母さん本当にありがとうございました。3年1組のみんな、1年間本当にありがとう。共通テストや二次試験が近づいてきた時期の一生懸命勉強に取り組んでいるみんなの姿はとてもかっこよかったし、励みになりました。これからも頑張ってください。応援しています。

私は英語やコミュニケーションを深く学習する学部に進みます。留学を経験し、外国の文化や歴史について理解を深め、将来は国際的な職業に就きたいと考えています。そのために小城高校での生活で得たものを十分に発揮し、私と関わった人に夢を叶えることで恩返しできるように頑張ります。



合格状況 ()内は過年度卒

【国立大学】 山口大学2 / 香川大学(1) / 愛媛大学1 / 九州大学1 / 九州工業大学3 / 福岡教育大学2 / 佐賀大学25(2) / 長崎大学5 / 熊本大学3 / 大分大学2 / 宮崎大学2

【公立大学】 静岡県立大学1 / 叡啓大学1 / 下関市立大学5 / 山口県立大学1 / 高知工科大学1 / 北九州市立大学2 / 長崎県立大学9 / 大分県立看護科学大学1

【私立大学】 国際医療福祉大学6 / 駒澤大学1 / 専修大学1 / 大東文化大学1 / 東海大学3(1) / 東京理科大学2 / 同志社大学1 / 立命館大学1 / 龍谷大学(1) / 近畿大学1(1) / 関西学院大学2 / 九州産業大学27 / 久留米大学54 / 西南学院大学8(1) / 西南女学院大学2 / 筑紫女学園大学4 / 中村学園大学6 / 福岡大学35(1) / 福岡工業大学23 / 福岡女学院大学12 / 日赤九州看護科学大学1 / 福岡国際医療福祉大学2 / 西九州大学33 / 活水女子大学1 / その他の大学17

【短期大学】 佐賀女子短大1 / 福岡工業大短大1

【その他】 文科省外大学校9 / 高等看護学校26 / その他専門学校13 / 就職(公務員)5

部活動の成績

【体育部】

1.柔道

○令和5年度佐賀県高等学校総合体育大会 / 女子団体 3位 / 女子個人78kg級 2位 神近樹愛 / 女子個人52kg級 3位 福田まみ / 女子個人70kg級 3位 野口結生 / 女子個人78kg級 3位 秀瀬あゆな

○令和5年度佐賀県高等学校新人柔道大会 / 女子団体 3位(九州大会出場) / 女子個人 1位(九州大会出場) 神近樹愛 / 女子個人 2位(九州大会出場) 秀瀬あゆな / 女子個人 1位(九州大会出場) 野口結生 / 女子個人 3位 藤井英麗奈

○第46回全国高等学校選手権佐賀県柔道大会 / 女子団体 3位 / 女子個人 3位 福田まみ / 女子個人 3位 藤井英麗奈 / 女子個人 3位 神近樹愛

2.剣道

○第57回佐賀県高等学校春季剣道大会 / 男子個人 2位 重松拓真 / 女子団体 3位

○第29回黒木旗高等学校剣道大会 / 男子団体 3位

○令和5年度佐賀県高等学校総合体育大会 / 女子団体 3位 / 女子個人 優勝 久富百寧 / 女子個人 ベスト8(九州大会出場) 北島美咲 / 男子個人 ベスト8(九州大会出場) 重松拓真

○令和5年度全九州高等学校剣道大会 / 女子個人 ベスト8 久富百寧 / 男子個人 ベスト8 重松拓真

○令和5年度佐賀県高等学校新人剣道大会兼第38回九州高等学校選抜剣道大会県予選 / 男子団体 3位(九州大会出場) / 男子個人 ベスト8(九州大会出場) 藤瀬亮介

○令和5年度森田喜次郎杯高校剣道大会 / 女子団体 準優勝

○令和5年度第20回佐賀県高等学校剣道大会兼第33回全国高等学校剣道選抜大会予選会 / 男子団体 3位

○第31回大野旗争奪剣道大会 / 男子個人 優秀選手賞 藤瀬亮介

○令和5年度第38回九州高等学校選抜剣道大会 / 男子個人 優秀選手賞 藤瀬亮介

3.弓道

○令和5年度佐賀県弓道大会(U-16大会) / 男子団体 優勝 / 女子個人 優勝 宗田愛来

○令和5年度佐賀県高等学校弓道遠征大会 / 男子団体 3位 / 女子団体 3位 / 男子個人 優勝 山崎慧太 / 女子個人 3位 岩永那夏

4.陸上

○令和5年度佐賀県高等学校新人体育大会新人陸上競技大会 / 女子個人 女子走高跳 第2位 1m50cm 米田七海

【文化部】

1.書道

○第7回全九州高等学校総合文化祭大分大会席上揮毫大会 / 優秀賞 上瀧正晃

○第28回全日本高等学校書道コンクール / 大賞 孔子廟堂碑賞 上瀧正晃 / 準大賞 準始平公造像記賞 上瀧正晃 / 準大賞 準隸書創作賞 片瀨良咲 / 準大賞 準開通褒斜道刻石賞 片瀨良咲 / 全日本高等学校書道教育研究会賞 古賀美智・久保山奈生・吉田紗来・川口倫奈・上瀧正晃

○第75回佐賀県高等学校席書大会 / 奨励賞【創作の部】 石井香帆 / 特選【臨書の部】 木村夏菜・上瀧正晃

○第35回佐賀県高等学校総合文化祭書道部門 / 特選 片瀨良咲・古賀美智 / 特選(第7回全九州高等学校総合文化祭大分大会出場) 上瀧正晃 / 奨励賞

木村夏菜・貞包 遥・渡邊香耶乃・上田百萌・久保山奈生・毛利愛菜・川口倫奈

○第47回佐賀県書作家協会展 / 特選 石井香帆・浅井春華

○第31回書聖中林梧竹翁席書大会 / 梧竹顕彰会賞 上瀧正晃 / 梧竹記念館賞 木村夏菜

○第47回ふれあい書道展 / 筆都大賞 毛利愛菜・上瀧正晃

○第22回全国書道展 / 大学賞 山田麻衣

○第60回全日本書初め大展覽会 / 日本武道館賞 吉田紗来

2.美術

○第76回佐賀県高等学校スケッチ大会 / 奨励賞 荒木遥月・片瀨瑛心・坂本千佳・田中心春・古江瞳子

○第105回佐賀美術協会展 美協展 / 奨励賞 荒木遥月

○第35回佐賀県高等学校総合文化祭美術・工芸展 / 絵画部門 準特選 荒木遥月 / 絵画部門 佳作 坂本千佳・田中沙依・古江瞳子・山口瑠璃 / デザイン部門 佳作 小路美佑

○第47回九州青年美術公募展 / 大牟田市長賞 荒木遥月

○第62回佐賀県高等学校デッサンコンクール / 石膏の部 奨励賞 荒木遥月 / 静物の部 準特選 田中沙依

3.放送

○第70回NHK杯全国高校放送コンテスト佐賀県大会 / 奨励賞 木下汐音

○第47回佐賀県高校放送コンテスト / 奨励賞 木下汐音

4.吹奏楽・合唱

○第64回佐賀県吹奏楽大会 / 団体 Aパート銅賞 南里咲良

○第49回佐賀県吹奏楽アンサンブルコンテスト / 団体 金賞 明石悠里

○第47回全国高等学校総合文化祭鹿兒島大会吹奏楽部門出場(佐賀県高等学校合同吹奏楽団として)

○第47回全国高等学校総合文化祭鹿兒島大会合唱部門出場(佐賀県高等学校合同合唱団として)



吹奏楽・合唱部

令和5年度会員寄付金の卒業回期別寄付者一覧（敬称略）

会員の皆さまには、日ごろから黄城会の円滑な運営に対しご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当会は「会員相互の親睦を図り、同時に小城高等学校の発展に寄与すること」を目的にした事業を行っておりますが、建築後36年目の黄城教育会館の維持管理及び将来の改修費用並びに育英奨学金資金の確保のためにご寄付をいただきました。心から感謝申し上げます。

ご協力いただいた寄付金につきましては、お願いした趣旨のりと有効に活用させていただきます。

ここに感謝の意を込めてご尊名を掲載させていただきました。また、この会員寄付金は、今後も継続して計画させていただきますので、なにとぞ協力賜りますようお願いいたします。

小城高等学校同窓会 黄城会会長

(旧制中学43)	七 島 義 人	飯 盛 マ キ	福島(真子)治枝	(高校19)	本 村 豊	(高校28)
松 浦 茂 雄	秀 島 寛 美	北 島 一 枝	徳 勝 秀 俊	永 測 俊 昭	(高校22)	井手(鶴)美保子
(高校19)	西 山 俊 幸	牟 田 口 博 司	(高校15)	貝 原 正 洋	熊 井 隆 光	古 賀 ゆかり
[故]藤山(内山)和子	大 野 雅 央	木 下 謙 次	永 尾 薫	山 村 (藤岡)たく子	江 頭 朋 彦	寺 西 (井手)秀佳
(高校3)	大野(於保)富子	(高校11)	持 永 (真子)正彦	松 永 (藤岡)れい子	松 尾 (田中)久美子	小 口 (鶴)佐枝子
[故]山田耕司	池 田 義 實	井 上 通 正	七 田 義 孝	村 上 徹	匿名希望 1人	武 田 (山田)郁子
(高校4)	(高校9)	丸 谷 (田中丸)房子	上 野 (高山)里代	猪 村 (永石)三重子	(高校23)	北 川 常 弘
小 柳 (石井)孝枝	金 丸 盛 登	真 子 輝 雄	真 島 照 男	堤 成 太 郎	永 測 (原)幸子	(高校29)
石 井 (鎌井)幸子	古 賀 義 規	西 田 潤 平	陣 内 由 晴	百 武 (水田)好光	佐 々 木 (三島)忍	井 手 (音成)真喜子
中 山 (中尾)ヨシコ	今 泉 茂 太	倉 永 寿 子	石 本 勝 昭	峯 康 則	柴 田 (塚原)春美	雪 竹 稔
(高校5)	中 島 (山口)敦子	木 原 (斉藤)マサ子	中 島 (北村)要子	矢 野 (廣川)文子	田 中 佳 規	土 橋 敬 治
江 里 口 雅 正	米 満 正 夫	野 口 武 男	板 垣 (牛丸)修	友 永 哲 三	藤 (松谷)盛子	尾 形 茂
成 田 (山下)博子	(高校10)	(高校12)	武 富 哲	匿名希望 1人	南 里 信 幸	(高校30)
堤 (三好)澤子	岡 本 壽 夫	鬼 塚 重 則	野 口 (福地)稔子	(高校20)	南 里 芳 幸	吉 谷 弘
土 井 啓 吾	夏 秋 (南里)葉子	西 岡 (北島)信子	(高校16)	岡 田 修 三	福 野 (江口)勢津子	光 岡 (池田)知子
浜 田 (渡瀬)幸子	岸 川 英 俊	大 島 文 雄	岡 田 史 一	岡 田 (渡辺)美知子	(高校24)	(高校32)
(高校6)	吉 田 (大塚)勢津子	林 義 人	古 賀 紀 昭	外 尾 美 好	井 手 英 喜	古 賀 浩 二
古 賀 義 昭	宮 島 光 典	林 三 郎	小 柳 忠 雄	岸 川 宗 一 郎	可 児 健 治	江 里 口 冬 樹
古 賀 弘 毅	古 賀 政 利	(高校13)	豆 田 泰 夫	原 田 (野口)京子	坂 井 敬 彌	山 本 康 徳
秋 吉 成 恭	溝 口 武 夫	宇 高 郁 子	柳 島 (木崎)万智子	光 武 (笠原)章	森 (土井)数子	大 坪 敏 郎
小 柳 新 平	国 政 (南)綾子	永 山 重 隆	高 木 靖 哉	江 口 幹 郎	陣 内 慶 周	(高校38)
中 島 (福島)延子	志 波 保 彦	古 川 (永野)悠紀	(高校17)	荒 原 敏 雄	早 田 昌 弘	野 田 益 弘
天ヶ瀬 慶 彦	寺 尾 (秀坂)桂子	坂 口 捷 哉	井 形 (土井)由理子	緒 方 (深川)満子	谷 口 秀 隆	(高校39)
徳 永 誠 行	七 島 竹 治	山 本 道 久	吉 田 紘 二 郎	深 川 寛	田 中 (吉田)弘子	東 島 純 一
(高校7)	松 永 政 治	小 路 英 毅	原 田 元 彦	真 子 英 行	藤 本 富 男	(高校40)
吉 島 大 策	松 枝 修 三	大 賀 文 博	古 館 和 幸	盛 口 (山本)紀文	(高校25)	荒 川 好 子
佐 々 木 昇 三	松 本 (深川)リエ子	中 尾 久 司	山 下 拓 治	川 原 田 徳 治	工 藤 (古場)節子	(高校41)
山 田 (池田)勝子	新 郷 道 明	桃 崎 勝 斌	山 内 敏 博	大 坪 健 造	三 根 英 樹	江 里 口 和 紀
上 村 (羽島)満子	水 田 要	樋 口 秀 利	小 原 鶴 子	塚 原 康 子	筒 井 (原)千恵子	山 崎 (黒岩)史子
森 江 武 司	清 水 (今泉)千恵子	茂 村 (鶴丸)真理子	深 川 義 隆	藤 川 秀 行	(高校26)	(高校43)
水 田 和 憲	西 岡 (香田)敏子	(高校14)	西 山 祐 三 郎	北 島 和 道	橋 本 (笹川)秀子	熊 本 仁
(高校8)	石 山 (北川)洋子	岩 崎 淳 子	石 井 保 廣	本 村 光 節	川 副 春 海	松 本 智 弘
阿 波 (江里口)孝子	浅 野 (牧瀬)廣子	橋 口 邦 紘	大 島 (西原)厚子	林 田 恭 子	田 中 伸 子	(高校45)
岩 谷 (坂口)清子	太 田 (川原田)京子	橋 本 (御木)聖子	(高校18)	(高校21)	藤 (大野)きみ子	松 尾 幸 樹
金子(日出島)京子	大 石 太	山 崎 良 允	吉 次 (豆田)悦夫	江 口 (北島)八千代	内 海 唯 史	野 方 (山崎)眞智子
古 川 正 人	大 坪 昭 子	深 町 宗 孝	古 館 豊	山 北 (川内丸)郁子	福 田 (鷲頭)智恵子	(高校51)
公 文 (田代)益子	定 松 (佐々木)和代	西 寄 萬	古 川 (中尾)剛	中 村 (一ノ瀬)津多子	匿名希望 1人	川 頭 裕 樹
黒 岩 邦 弘	田 中 嘉 典	赤 坂 (牛島)朝子	松 尾 啓 一	田 原 泰 明	(高校27)	
佐 々 木 (徳永)祐里子	田 島 (池田)美智子	大 塚 (石丸)博子	水 田 (平川)瑞子	田 中 政 敏	財 前 (村岡)安子	
山 口 勝 利	東 (横田)佐久良	藤 居 (湯村)昌子	内 田 (深川)伊鶴子	北 島 和 久		

令和6年度黄城会役員一覧

▷会長=古賀正人(高24)▷副会長=徳久英二(高22)井手美保子(高28)
▷顧問=高尾和範(校長)藤井秀樹(教頭)江里口和紀(事務局長)▷理事=川副富男(高5)佐々木昇三(高7)大野雅央(高8)金丸盛登(高9)牟田口博司(高10)真子輝雄(高11)小柳平一郎(高12)中尾久司(高13)青柳隆(高14)七田義孝(高15)松尾剛之(高

17)村山龍彦(高18)江口武(高19)野田豊秋(高20)坂井正徳(高21)坂井一彌(高22)北島唯邦(高23)中山章(高25)川副春海(高26)横尾俊彦(高27)岡正幸(高30)安永正(高31)伊東猛彦(高32)水田信(高33)松尾直人(高35)西岡聖師(高36)梶原聖司(高37)北島清孝(高38)香川弘行(高39)高塚誠(高40)飯盛宏徳(高41)野田

一彦(高42)西田亮(高43)瀨上史貴(高44)徳重隆仁(高45)吉次篤司(高46)梶原泰宏(高47)田中雅久(高48)上瀧賢治(高49)副島剛(高50)▷監事=秋野和之(高28)雪竹稔(高29)真崎俊夫(高34)▷事務局長=平安寺徹(高25)▷庶務=千綿真由美▷会計=田代智子

支部役員一覧

[関東支部]▷支部長=村上徹(高19)▷副支部長=井手勇人(高31)▷幹事長=井上勇次(高21)▷副幹事長=於保啓子(高30)▷事務局長=川副隆之(高32)
[中京支部]▷支部長=力武勉(高17)▷副支部長=梅谷雅和(高17)▷副支部長=中嶋桂子(高25)▷事務局長=堤淳(高40)▷事務局次長=吉田了(高43)▷会計=真子博行(高39)
[関西支部]▷支部長=田中善吾(高17)▷副支部長=南里種司(高20)▷副支部長=新田安典(高22)▷事務局長=岡本正史(高27)▷事務局次長兼

会計=内田敏博(高20)▷会計監査=村岡敏幸(高26)
[長崎支部]▷支部長=中村嘉孝(高18)▷事務局長=大石太(高10)
[福岡支部]▷支部長=辻正人(高12)▷副支部長=堺八千代(高25)▷幹事長=古賀省吾(高26)▷副幹事長=小林佐登子(高33)▷副幹事長=音成芳和(高36)
[佐賀支部]▷支部長=江里口勉(高16)▷副支部長=金丸盛登(高9)▷副支部長=宮原史枝(高15)▷副支部長=東島慶次郎(高16)▷副支部長=中島栄子(高17)▷事務局長=徳久英

二(高22)
[唐津支部]▷支部長=鮎川正博(高28)▷副支部長=永瀨明則(高16)▷事務局長=濱村宜弘(高43)
[多久支部]▷支部長=藤田和彦(高16)▷副支部長=江里口セツ子(高19)▷副支部長=大塚恭子(高19)▷副支部長=古賀通雄(高23)▷幹事長=駄原博美(高27)▷事務局長=川瀨理(高46)
[県庁支部]▷支部長=井手宣拓(高39)▷幹事長=高塚光明(高39)▷幹事長=轟木直(高39)

令和5年4月～令和6年3月までの物故者(敬称略)

(回期)氏名[住所]

(旧中)
(37)深川 三郎[江東区](42)早田芳孝[北九州市](43)東島 豊[柏原市]
(高女)
(17)音成 ヨシ子[大村市](18)陣内澄子[船橋市](19)藤山 和子[我孫子](22)満身 はる代[佐賀市](23)志村典子[福岡市](23)中野 静子[唐津市](25)秀島 ツル子[福岡市]
(高校)
(2)呼子 享文[佐世保市](3)相原一郎[小城市](3)辻 和好[相模原市](3)山田 耕司[唐津市](4)江頭 清昌[足立区](4)蒲原 務[横浜市](4)釘本 晴夫[小平市](4)古賀 寛[多久市](4)寺尾 眞[下関市](4)村岡

義男[大阪市](4)幸島 ヌイ子[堺市](5)杉原 敬人[名古屋市](5)野中陽子[佐賀市](6)合六 静雄[鹿島市](6)下野 昇[横浜市](6)長岡 倭子[長崎市](6)荻野 惇子[北九州市](6)北島 文子[小城市](7)鈴田 廣太[船橋市](7)古川 倭夫[柏市](7)植田直子[熊本市](8)松永 昌治[小城市](8)井上 千鶴子[岡山市](8)中村 ツチ枝[小城市](10)井上 隆光[小城市](10)百武 俊昭[小城市](10)中野 暎子[佐賀市](10)喜田 邦子[木更津市](10)島内 博恵[佐賀市](10)平 和子[小城市](11)真崎 忠孝[吹田市](14)貞松 洋征[越谷市](15)杉田 和幸[佐賀市](15)鶴丸 義則

[小城市](15)南里 義光[小城市](15)野田 清磨[奈良市](15)吉田 宗明[豊橋市](15)陣内 宏子[佐賀市](16)梅崎 茂弘[多久市](16)副島 勇三[市川市](16)中井 美佐子[甲賀市](17)岩永 忠治[袖ヶ浦市](17)斉藤 清一郎[渋谷区](23)森永 正博[小城市](25)松瀬 史郎[多久市](28)西川 須恵子[小城市](28)古賀 優子[神崎市](30)池田 明敬[横浜市](32)上瀧 国重[佐賀市](32)末次 直美[小城市](41)徳島 貴治[福岡市]
(定時)
(本定3)山田 敏憲[多久市]

寄付・寄贈

(令和5年4月～令和6年3月)

一般寄付金	●旧中40回故高田俊夫様	10,000円	●旧中44回故平安寺扶様奥様	20,000円	
	●高校7回故川久保洋様	5,000円	●高校9回故城島賢子様	1,000,000円	
	●高校18回故野田和良様	20,000円	●旧中37回同期会一同様	300,000円	
	●高校11回生一同様	12,000円	●高校24回生一同様(古希同窓会)	40,000円	
	●高校24回関西支部有志一同様	10,000円	●高校25回生一同様(卒業50周年)	90,000円	
	●高校30回生一同様	11,096円	●高校40回生一同様	1,900円	
	寄 贈	●高女22回 故森永和枝様 「櫻影 第24号」創立25周年記念号			
		●高校16回 江里口 勉様 「どっくーびっさー」書籍			

ご寄付・ご寄贈いただきありがとうございます。

令和5年度黄城会本会計決算書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

(収 入)

(単位：円)

No	目 目	当初步算額	取 入 額	比較増減	備 考
1	会 費	5,000,000	2,540,000	▲ 2,460,000	会員1,034口より(令和5年度納入分)
2	入 会 金	2,095,200	2,088,000	▲ 7,200	在校生580人より
3	会 員 寄 付 金	1,000,000	2,724,827	1,724,827	会員241口より
4	一 般 寄 付 金	50,000	1,526,796	1,476,796	卒業50周年(高25)900,000円、旧中37回300,000円、 故郷地区希望会400,000円、故郷賢子会(高9)1,000,000円
5	雑 収 入	10,000	3,520	▲ 6,480	預金利息等
6	繰 入 金	0	0	0	
7	繰 越 金	7,385,388	7,385,388	0	前年度より
合 計		15,540,588	16,268,531	727,943	

(支 出)

(単位：円)

No	目 目	当初步算額	支 出 額	比較増減	備 考
1	会 報 発 行 費	700,000	578,600	121,400	10,400部
2	黄城会入会費	100,000	107,250	▲ 7,250	卒業生への記念品代
3	支部活動助成費	193,000	192,200	800	全国9支部へ(1,135人分)
4	回期活動助成費	51,000	50,200	800	高25回～高50回の各回期へ(502人分)
5	会 費 徴 収 費	1,800,000	1,594,367	205,633	会費・会員寄付金案内書、振込手数料
6	会 議 費	250,000	127,582	122,418	理事・監事会、評議員会
7	母校職員援助費	20,000	0	20,000	
8	支部関係渉外費	900,000	810,010	89,990	支部総会祝儀等、総会時支部来佐旅費
9	慶 弔 費	50,000	49,000	1,000	卒業50周年記念品料、香典、牛島校長祝賀会祝儀
10	(一財)黄城教育会館	3,000,000	3,000,000	0	(一財)黄城教育会館へ運営費として
11	基 本 金	1,000,000	0	1,000,000	
12	運 営 積 立 金	50,000	50,000	0	
13	名 簿 積 立 金	50,000	50,000	0	
14	退職給与積立金	50,000	50,000	0	
15	消 耗 品 費	100,000	104,332	▲ 4,332	PCソフトウェアアップグレード、事務用文具等
16	通 信 費	250,000	258,900	▲ 8,900	電話料、郵送料、インターネット回線等
17	事 務 委 託 費	300,000	0	300,000	
18	賃 借 料	440,000	409,200	30,800	PCソフトウェア、メンテナンス料
19	雑 費	100,000	72,025	27,975	小城副卒業アルバム、郵送料、名刺、記念品、学生支援金
20	予 備 費	50,000	0	50,000	
合 計		9,454,000	7,503,666	1,950,334	
次年度繰越金		6,086,588	8,764,865	2,678,277	

令和6年度黄城会本会計予算書

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

(収 入)

(単位：円)

No	目 目	令和6年度	令和5年度	比較増減	備 考
1	会 費	5,000,000	5,000,000	0	
2	入 会 金	2,116,800	2,095,200	21,600	在校生より入会金(588人×300円×12月) (1年200人、2年201人、3年197人)
3	会 員 寄 付 金	1,000,000	1,000,000	0	
4	一 般 寄 付 金	50,000	50,000	0	
5	雑 収 入	10,000	10,000	0	預金利息等
6	繰 入 金	0	0	0	
7	繰 越 金	8,764,865	7,385,388	1,379,477	前年度より
合 計		16,941,665	15,540,588	1,401,077	

(支 出)

(単位：円)

No	目 目	令和6年度	令和5年度	比較増減	備 考
1	会 報 発 行 費	700,000	700,000	0	
2	黄城会入会費	120,000	100,000	20,000	卒業生への記念品代
3	支部活動助成費	178,000	193,000	▲ 15,000	全国8支部へ
4	回期活動助成費	45,000	51,000	▲ 6,000	高26回～高51回の各回期へ
5	会 費 徴 収 費	1,800,000	1,800,000	0	会費・会員寄付金案内書、振込手数料
6	会 議 費	250,000	250,000	0	理事・監事会、評議員会
7	母校職員援助費	20,000	20,000	0	職員歓迎会祝儀
8	支部関係渉外費	900,000	900,000	0	支部総会祝儀等、総会時支部来佐旅費
9	慶 弔 費	50,000	50,000	0	卒業50周年記念品料ほか
10	(一財)黄城教育会館	3,000,000	3,000,000	0	(一財)黄城教育会館へ運営費として
11	基 本 金	1,000,000	1,000,000	0	
12	運 営 積 立 金	50,000	50,000	0	
13	名 簿 積 立 金	50,000	50,000	0	
14	退職給与積立金	50,000	50,000	0	
15	消 耗 品 費	100,000	100,000	0	事務用文具等
16	通 信 費	300,000	250,000	50,000	電話料、郵送料、インターネット回線等
17	事 務 委 託 費	300,000	300,000	0	システム開発
18	賃 借 料	440,000	440,000	0	PCソフトウェア、メンテナンス料
19	雑 費	200,000	100,000	100,000	
20	予 備 費	50,000	50,000	0	
合 計		9,603,000	9,454,000	149,000	
次年度繰越金		7,338,665	6,086,588	1,252,077	



令和6年度(第13期)一般財団法人黄城教育会館予算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

科	目	令和6年度予算	令和5年度予算	備	考
(単位:円)					
I	一般正味財産増減の部				
1.	経常増減の部				
(1)	経常収益				
	基本財産運用益	5,000	5,000		
	基本財産受取利息	5,000	5,000		基本財産定期預金利息
	事業収益	100,000	100,000		
	会館使用料	100,000	100,000		
	受取補助金等	5,430,000	5,430,000		光熱水費使用実費分
	運営費補助収入	5,430,000	5,430,000		黄城会(300万)、同窓会館維持費(243万)
	雑収入	6,000	6,000		
	受取利息	1,000	1,000		預金利息
	雑収入	5,000	5,000		
	経常収益計	5,541,000	5,541,000		
(2)	経常費用				
	事業費	1,440,000	1,440,000		
	奨学助成費	1,440,000	1,440,000		小城高等学校奨学生(12名)
	管理費	8,575,000	8,825,000		
	給料手当	2,600,000	2,600,000		職員2名分
	法定福利費	30,000	30,000		雇用保険料
	消耗品費	340,000	340,000		文具代、コピー用紙、コピーカウンタ料
	燃料費	120,000	120,000		ガス代、白灯油代
	光熱水費	1,000,000	1,000,000		電気料、水道料
	修繕費	100,000	100,000		
	通信運搬費	35,000	35,000		郵送料
	手数料	20,000	20,000		水質検査手数料
	賃借料	30,000	30,000		会館敷地使用料
	委託費	900,000	900,000		警備、電気保安、浄化槽管理等
	登記料	80,000	80,000		実費登記料
	火災保険料	160,000	160,000		
	減価償却費	3,150,000	3,400,000		
	雑費	10,000	10,000		
	経常費用計	10,015,000	10,265,000		
当期経常増減額		▲ 4,474,000	▲ 4,724,000		

令和5年度(第12期)一般財団法人黄城教育会館正味財産増減計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

科	目	令和5年度決算	備	考
(単位:円)				
I	一般正味財産増減の部			
1.	経常増減の部			
(1)	経常収益			
	基本財産運用益	347		
	基本財産受取利息	347		基本財産定期預金利息
	事業収益	56,000		
	会館使用料	56,000		光熱水費使用実費分
	受取補助金等	5,467,500		
	運営費補助収入	5,467,500		黄城会、同窓会館維持費
	雑収入	1,516		
	受取利息	16		預金利息
	雑収入	1,500		コピー料
	経常収益計	5,525,363		
(2)	経常費用			
	事業費	1,440,000		
	奨学助成費	1,440,000		小城高等学校奨学生(12名)
	管理費	7,959,172		
	給料手当	2,595,885		職員2名分
	法定福利費	40,661		雇用保険料
	消耗品費	187,635		文具代、コピーカウンタ料等
	燃料費	77,671		ガス代、白灯油代
	光熱水費	717,232		電気料、水道代
	修繕費	35,200		
	通信運搬費	14,290		郵送料
	手数料	11,000		水質検査手数料
	賃借料	20,000		会館敷地使用料
	委託費	24,580		
	登記料	804,040		警備、電気保安、浄化槽管理等
	火災保険料	47,700		
	減価償却費	156,520		
	雑費	3,244,778		
	経常費用計	10,265,000		
当期経常増減額		▲ 4,724,000	▲ 3,873,809	
2.	経常外増減の部			
(1)	経常外収益	0		
(2)	経常外費用	0		
	固定資産除去損	0		
	経常外費用計	0		
当期経常外増減額		0	0	
当期一般正味財産増減額		▲ 4,724,000	▲ 3,873,809	
	一般正味財産期首残高	0	132,320,009	
	一般正味財産期末残高	0	128,446,200	
II	指定正味財産増減の部			
	当期指定正味財産増減額	0	0	
	指定正味財産期首残高	0	0	
	指定正味財産期末残高	0	0	
III	正味財産期末残高	0	128,446,200	

「会費」及び「会員寄付金」納入のお願い

黄城会および一般財団法人黄城教育会館の運営には御協力たまり誠にありがとうございます。

我が黄城会も2025年の来年は創設120周年を迎えます。記念事業として現在1学年4名の黄城教育会館奨学生を学年5名に増員、また、黄城教育会館の在校生が合宿等に利用する2階と3階のトイレを和式の便器から洗浄便座付の洋式トイレに変更を計画しております。

会員の皆様には出費多端の折とは存じますが、趣旨ご理解いただき宜しくお願いします。

記

会費のご案内 ※終身会費納入済みの方、5年会費納入済みの方で5年経っていない方及び今年度に会費を納入されている方を除きます。	会員寄付金のご案内 ※今年度に会員寄付金を納入されている方を除きます。
①会費の区分 1年会費 2千円 5年会費 1万円 終身会費 5万円 ②会費の振込金融機関 1年会費(2千円)は、最寄りの『ゆうちょ銀行(郵便局)又はコンビニ』から振り込みをお願いします。 5年会費(1万円)又は終身会費(5万円)を振り込んでいただけたときは、振込金額を訂正していただいたうえで『ゆうちょ銀行(郵便局)』から振り込みをお願いします。 ※振込手数料は黄城会が負担します。 ※郵便局からの現金振り込みは、振込料金ではなく「加算料金110円」が必要となっています。(「ゆうちょ口座の通帳」又は「カード」で振り込んでいただく場合は加算金はありません。) ※近隣にお住まいの方は、黄城会事務局に直接持参いただければ、経費の節約ができます。 ※『自動払い込み(口座振替)』にご協力いただける方には、手続きの書類を送らせていただきますのでご連絡ください。	①寄付の金額は任意でお願いしておりますので、ご寄付いただく金額をご記入のうえ、『ゆうちょ銀行(郵便局)』から振り込みをお願いします。 ②ご寄付いただいた方にはお礼状をお届けするとともに、当年度の寄付者名を翌年発行する会報誌上に掲載し、お礼を申し上げます。 ※振込手数料は黄城会が負担します。 ※近隣にお住まいの方は、黄城会事務局に直接持参いただければ、経費の節約ができます。

「会費」及び「会員寄付金」の納入状況

【会費】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
口数	1,190口	1,083口	987口
金額	3,228,000円	2,966,000円	2,540,000円

【会員寄付金】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
口数	344口	267口	241口
金額	2,957,000円	2,372,837円	2,724,827円

『回期日より』回期だよりを作成された卒業回期の方に同封しています。ご高覧ください。

事務局の一言

未っ子の次女が小城高校3年生になりました。未っ子次女は思春期真っ只中！先日も私は、些細なことで次女とケンカになり冷戦状態でしたが帰宅して、ふとニュースから流れてきた事件を見て、次女と一緒にいれるのに「怒りの感情」で過ごすのは勿体ないと思い直し、冷戦解除しました。

長女の小城高校入学とともに、黄城会にお世話になり7年目になりました。長女、長男、次女の三人の小城高校での生活をすく傍で見るのができたこの日々は、貴重な毎日で、私の宝物です。当たり前ではない毎日に、感謝して大切に過ごしたいと思います。

長女と長男は小城高校を卒業して、今は、新しい環境で頑張っています。(田代)

お知らせ

令和6年度 支部総会予定日

予定の変更があれば、その都度黄城会のホームページに掲載しますのでご確認ください。

支部名	予定日	氏名	電話
関東	令和6年 8/25(日)	支部長(高19) 村上 徹	090-3084-6866
中京	令和6年 9/21(土)	事務局長(高40) 堤 淳	090-1728-1894
関西	令和6年 9/22(日)	事務局長(高27) 岡本 正史	0774-44-4784
福岡	令和6年 10/26(土)	幹事長(高26) 古賀 省吾	090-8669-4023
佐賀	令和6年 11/17(日)	事務局長(高22) 徳久 英二	090-9578-4672

支部名	予定日	氏名	電話
県庁	未定	幹事長(高39) 高塚 光明	県民環境部人権・同和対策課 0952-25-7063
		幹事長(高39) 轟木 直	産業労働部企業立地課 0952-25-7097
長崎	令和6年 10/20(日)	事務局長(高10) 大石 太	090-6774-1144
唐津	令和7年 2/2(日)	事務局長(高43) 濱村 宜弘	080-1725-4591
多久	令和7年 2/9(日)	事務局長(高46) 川淵 理	090-1083-5846

お知らせ

今後、黄城会の会報郵送をご希望されない場合は、お手数ですが下記にご連絡をお願いいたします。
 電話 (0952) 72-7128 メール ojyokai@galaxy.ocn.ne.jp